

年頭のごあいさつ



～安全で安心な交通社会の実現にける思い～

和歌山県警察本部長

野本 靖之

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。また、平素から交通行政はもとより、各般の警察行政にわたり、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、道路交通法の改正による、幅広い年齢層が利用する自転車に関する新たな交通ルールの整備や、特定小型原動機付自転車を始めとする小型モビリティが徐々に普及の兆しを見せる等、道路交通を巡る情勢が大きく変容を遂げつつある中、交通安全協会の皆様を始め、関係機関、団体、企業、交通ボランティア等多くの方々の御協力をいただきながら、様々な取組を推進いたしました。

「自転車の安全対策」では、昨年11月に施行された自転車運転中の携帯電話使用(ながらスマホ)及び自転車の酒気帯び運転とこれを助長する行為に関する罰則の整備や、一昨年4月に施行されている全ての自転車利用者に対するヘルメット着用努力義務に関し、自転車利用者が多い中学や高等学校を中心に安全教育を行うとともに、街頭啓発を始めテレビCMやSNS等を活用して広く県民の皆様にご啓発を行ってまいりました。

「歩行者の安全対策」では、令和4年から取り組んでいる「サイン+サンクス運動」を、昨年も、関係機関と連携して小学校を中心に展開しました。

その結果、日本自動車連盟(JAF)が公表した信号機のない横断歩道における一時停止率の全国調査の結果を見ると、本県は36.2%となり、全国平均の53.0%には届かないものの、毎年着実に停止率は上昇してきております。

引き続き、「サイン+サンクス運動」を通じて県民全体に歩行者優先意識の向上と横断歩行者の交通事故防止を図ってまいります。

道路交通情勢は日々変化しますが、本年もこれまで以上に、その変化に柔軟に対応しつつ、交通事故抑止総合対策を強力に推進していかねばならないと決意を新たにしているところであります。

交通安全の根幹は、道路交通を利用する全ての人の「思いやり」であり、誰もが安全で安心できる交通社会の実現に向け、引き続き、御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



自転車の安全な利用について

和歌山県交通安全協会 会長

松本 公望

県民の皆様には、希望に満ちた新たな年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、皆様には、平素から交通安全活動に深いご理解とご協力をいただくとともに、当協会の活動にご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、当協会におきましては、昨年、交通事故防止のための広報啓発活動やこども・高齢者を対象とした交通安全教室の開催などの各種交通安全活動を積極的に展開してまいりました。

特に自転車につきましては、一昨年、ヘルメットの着用が努力義務化されてから、街中でヘルメットを着用して走る自転車利用者の数も着実に増えてきているように見受けられます。

さらに昨年11月1日からは、自転車の酒気帯び運転と運転中スマートフォンを持ったまま通話したり画面を見ながら運転する行為が処罰の対象となりました。

自転車は誰もが気軽に使用することができる便利な乗り物ですが、それゆえに、これぐらいならと安易に違反をしてしまう場合も多いようです。

しかし、油断をすると自らのみではなく、他人をも傷つけてしまう凶器ともなります。自転車に乗車する際は、ヘルメットのあごひもを締めると同時に、交通安全に対する気持ちも引き締め、安全に自転車を利用しましょう。

また、依然として全国平均より低い、歩行者が信号機のない横断歩道にいた時の車の停止率を向上させるため、横断歩行者の保護を目的とした、サイン+サンクス運動を通じ、こどもや高齢者に優しい交通環境づくりに力を入れていきたいと考えています。

当協会におきましては、引き続き、関係機関・団体と連携を図りながら、各種交通安全活動を展開してまいります。当協会の活動は、県民の皆様にご支えていただくことにより実現できるものでありますので、これからもますますのご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

終わりになりましたが、本年も県民の皆様にとりまして、安全で健やかな一年であることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

— 令和7年 元旦 —

一般財団法人 和歌山県交通安全協会

- 会 長 松本 公望
- 副 会 長 楠 富晴 (岩出支部長)
- 同 福地 達明 (和歌山北支部長)
- 同 小松 一也 (御坊支部長)
- 同 小森 正剛 (新宮支部副支部長)
- 専務理事 西川 敏秋
- 理 事 石井 清平
- 同 丸木 健嗣
- 同 平野 耕造 (橋本支部長)
- 同 笠勝 清人 (かつらぎ支部長)

- 理 事 新家 啓吾 (和歌山東支部長)
- 同 藤田 雅也 (和歌山西支部長)
- 同 小野田 典生 (海南支部長)
- 同 井上 喜代治 (有田湯浅支部長)
- 同 矢野 晴彦 (有田湯浅支部副支部長)
- 同 天野 正一 (田辺支部長)
- 同 川口 祥子 (白浜支部長)
- 同 田中 肇 (新宮支部長)
- 監 事 新宅 さよ子
- 同 川合 未幸
- 同 野上 泰司郎

自転車の危険な運転に罰則を新設

自転車運転中の「携帯電話の使用等」や「酒気帯び運転」に対する罰則規定等が設けられました。(令和6年11月1日施行)

運転中のながらスマホ



違反者は
**6ヵ月以下の懲役又は
10万円以下の罰金**

事故を起こすなど
交通の危険を生じさせた場合
1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

携帯電話などを手で保持して、自転車に乗りながら通話したり、画面を注視したりした場合

酒気帯び運転および幫助



違反者は **3年以下の懲役又は
50万円以下の罰金**

車両の提供者は **3年以下の懲役又は
50万円以下の罰金**

酒類の提供者・同乗者は **2年以下の懲役又は
30万円以下の罰金**

自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や同乗・車両の提供に対して

自転車安全教育指導員認定講習会



県自転車安全教育推進委員会と当協会は、御坊自動車学校において、自転車利用者に対する交通安全教育の推進を図るため、指導員の認定講習会を開催しました。

開催エリア内の交通指導員、交通安全母の会会員、自治体職員等の方々が参加され、講義と実技を通して安全な自転車利用のための指導方法等を研修していただきました。

交通安全体験ギャラリー **利用無料!**

～ 子どもから高齢者まで楽しみながら体験学習できる! ～



歩行者シミュレーター



自転車シミュレーター



ドライブシミュレーター



クイックキャッチ身体機能測定器



反射材効果体験



貸出DVD

歩行者・自転車・ドライブシミュレーターで交通ルールやマナーを学習できるほか、身体機能も測定できます。

(一財)和歌山県交通安全協会 事業課
和歌山市西1番地 交通センター内
TEL 073-472-4668

- 開館時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00
- 休館日：土・日・祝(休)日・年末年始



- ひと ●終身共済 ●養老生命共済 ●定期生命共済 ●定期生命共済(遷延期間設定型) ●引受種和型終身共済 ●医療共済 ●引受種和型医療共済
- い え ●がん共済 ●特定産産疾病共済 ●生活障害共済 ●認知症共済 ●介護共済 ●予定利率変動型年金共済 ●こども共済 ●傷害共済 ●建物更生活共済 ●火災共済 など
- く る ま ●自動車共済 ●自動車共済 ●農業者賠償責任共済

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。どなたでもご相談いただけます。

はじめ共済 <https://shiryu.ja-kyosai.or.jp>
JA共済相談センター(JA共済道 全国本部) 受付時間：9:00～18:00(月～金) 9:00～17:00(土)
☎0120-536-093 ☎0120-167-100 (に高齢者専用ダイヤル)
※日曜日、祝日および12月29日～1月3日は休みです。※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。
※電話受付は、おかけ間違いのないようご注意ください。※ご高齢者等がご利用の際は、遠隔でシミュレーターにつながらず、ご高齢の方にもよりわかりやすく、丁寧に説明させていただきます。専用サービスです。

くらしの保障、相談するなら **JA共済**

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

SDカードは安全運転の証!

SDカードを持っていますか?

SDカードは、無事故・無違反証明書または運転記録証明書(1通670円)の申請者で、**1年以上事故・違反等の記録のない方**に発行しています。



SDワンちゃん

自動車安全運転センター和歌山県事務所

〒640-8313 和歌山市西1番地 交通センター内
(073) 472-4433 URL:<https://www.jsdc.or.jp/>

交通安全功労者・優良運転者等表彰

■ 令和6年11月8日(金)
■ 和歌山ビッグ愛(大ホール)

表彰式は、県警察と当協会の共催で、令和6年の近畿交通栄誉章(14名・3事業所)、交通栄誉章「緑十字銅章」(69名)の表彰伝達と県内の交通安全功労者・優良運転者等の表彰を行いました。

県内表彰では、和歌山県警察本部長と和歌山県交通安全協会会長が永年、無事故・無違反で交通安全に努めている方々や地域の交通安全の功労のあった方々69名と15団体・学校・事業所に対して表彰状や感謝状を贈呈しました。

式典の最後に、交通安全宣言として交通安全功労者表彰を受賞された尾崎好美さんが代表で、「交通安全は、県民全ての願いです。私たちは、安全で快適な交通社会の実現に向けて県民運動として推進中の

- ・こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断歩道の実践
 - ・歩行者優先意識の徹底と「思いやりゆずり合い」運転の励行
 - ・自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
 - ・飲酒運転の根絶
- に留意して、地域・家庭・学校・職場の皆様方とともに引き続き交通安全に努めてまいります」と宣言しました。

今回、次の方々が栄えある表彰を受けられました。



近畿交通栄誉章

近畿管区警察局長
近畿交通安全協会協議会長
連名表彰伝達

交通安全功労者

南方 幼子
萩原 清弘
上高 敦子
児玉 忠雄
湯川 佳紀

交通安全優良事業所

中野BC株式会社
株式会社西峰工務店
株式会社松本コンサルタント紀和支店

優良運転者

木村 美智子
三原 勝
中村 幸男
小川 豊介
小松 弘行

交通栄誉章「緑十字銅章」

全日本交通安全協会会長表彰伝達

交通安全功労者

藤岡 行廣
守内 貴子
正木 悦子
藪中 龍治
東峰 宏吉
津田 功子
東 恭子
北田 幸代
尾崎 好美
阿波 保彦
高田 忠彦
岡田 義信
島本 祥恵
米田 友武
石井 靖人
明石 一徳

(敬称略、順不同)

福地 達明
中谷 康弘
清水 清己
柏原 眞弓
湯上 章夫
高垣 重義
林 重宇
田代 定昭
千畑 賀章
塩路 伸行
真鍋 享次
宮尾 覺生
松下 健生
東 生広
千葉 喜美代
塩崎 一男
北地 千里

優良安全運転管理者

竹内 三典
沼 圭昭
宮本 裕司
橋本 久
土井 光
福田 茂範

優良運転者

前	本	貞	男
森	下	訓	至
内	倉	登	美
秦	野	健	雄
池	田	三津	男
森	本	利	信
鈴	木	隆	通
松	本	貢	一
角	川	英	雄
丹	治		賢
渡	辺	友	子
清	水	俊	宏
雨	乞	良	太
河	野	由	香
久	保	賢	次
松	林		実
井	原	可奈	子
武	田	道	也
上	田	憲	應
小	山	友	子
稗	田	有	次
宇	井	照	代
眞	田	和	央
森	脇	重	富
木	村	匡	男
河	邊	行	弘
平	野	満	里
石	橋	一	男
平	野	昌	宏
和	田		規

県内表彰

和歌山県警察本部長
和歌山県交通安全協会会長
連名表彰

交通安全功労者

正	司	育	子
木	下	幸	男
杉	本	浩	子
藏	端	知	子
久	志	全	代
小	山	育	美
土	井	千	晶
田	中	忠	男
田	村	和	輝
南	方	憲	治
小	林	徹	也
小	櫻	章	則

神	谷	敏	雄
谷	畑		茂
岩	本	サダ	子
池	田	卓	司
柴	崎	孝	男
田	和	久	則
加	賀	洋	二
數	見	寿	郎
松	林		実
沖		正	和
尾	崎	しのぶ	
辻	田	千也	紀
松	本	忠	子
佃		奈津	代
岡	本	悦	子

優良安全運転管理者

朝比奈 達也

交通安全優良事業所

電源開発株式会社西日本支店
紀和事務所
株式会社J-POWERハイテック
関西事業所
株式会社J-POWERハイテック
紀和事業所
J-POWERテレコミュニケーション
サービス株式会社橋本営業所
株式会社原組
有限会社河村運送
株式会社和歌山建材リサイクルセンター
和歌山国際セーフティー株式会社
有限会社千田
共栄電設株式会社

交通安全優良団体

和歌山東地区交通安全母の会
岡崎分会
和歌山西地区交通安全母の会
今福地区
日鉄テックスエンジ株式会社
安全指導班
佐野おやじの会

交通安全優良学校

和歌山県立和歌山北高等学校

優良運転者金章

小	迫	芳	輝
亀	井	幸	二
半	田	浩	義
北	村	彰	浩
今	地	二六	始
芝		明	文
小	野	寛	之
下	村	洋	一
貴	志	浩	明
南		直	子
垂	井	喜久	男
藪	下	根	敬
山	根	永	陽
池	永	口	真
瀬	石	原	秀
石	佐々	木	道
金	田	昌	子
仲		充	紀

優良運転者銀章

久	保	敦	資
福	島	孝	明
山	下		能
森	下	浩	年
高	野	俊	輝
柿	本	峰	男
梅	原	吉	治
家	高	智	明
高	松		誠

功労警察職員

落	合	智	基
柳	本	諭	樹
向	山	夕	佳
山	本	剛	生
森		光	輝
前	垣	佑	次
野	際	裕	紀
岡	本	佳	輔
杉	谷	真	人
中	村	圭	助
丸	木		学
藤	井	康	介
喜	多	佑	磨

横断歩道は歩行者優先！ 横断歩行者妨害は、交通違反です

横断歩道は歩行者優先
一時停止がルールです

忘れずに
安全確認を
歩行者を

広げよう!
サイン+
サンクス運動

大人も子どもも手を上げて、
ドライバーへの「合図(サイン)」と
「感謝(サンクス)」を忘れずに!

和歌山県警察 / 和歌山県交通安全協会 / JA共済

横断者や横断しようとしている人がいれば、
横断歩道の直前で一時停止し、
歩行者を横断させましょう。

和歌山県の信号機のない横断歩道に歩行者がいた場合、車の停止率は36.2%で、
全国平均の53.0%を16.8ポイント下回りました。

※ 2024年全国調査 (JAF 調べ)

点検整備で安心・安全!

点検整備済ステッカー

黄色と緑色の看板のある整備工場はあなたの車の
ホームドクター! 安心チェックを承っています!

一般社団法人 和歌山県自動車整備振興会 TEL:073-422-2466

近畿運輸局長認証 自動車特定整備事業

近畿運輸局長認証 自動車特定整備事業

運転免許証更新(取得)時に交通安全協会にご入会いただいた あなたの会費が交通安全活動を支援しています。



会員優待店制度

レジャー施設、自動車販売・整備事業所、飲食店、ホテル・宿泊施設等の協賛店で割引等のサービスを受けることができます。

会員優待は、協賛店で会員証と運転免許証を見せるだけ!! 会員証は、運転免許更新時等に入会していただいた方に交付しています。

協賛店のご案内は、当協会ホームページをご覧ください ▶



入院見舞金制度

会員の皆様が、万が一交通事故により傷害を負われ、20日以上継続して入院治療を受けた場合に、当協会が入院見舞金(3万円)をお支払いする制度です。

※お支払いには条件がございます。

詳しくは、交通安全協会総務課 (073-473-1710) 又は県内の各支部でお尋ねください。

全日本交通安全協会の**自転車会員**となって
団体割引適用の
サイクル安心保険に加入
しませんか

(Web加入、プランAの場合)
Web申込みでお得!
年間掛金 1,670円~
1か月あたり **約140円~**
団体割引30%適用!!

(プランD・E・Fの場合)
最高3億円の賠償責任を補償!
詳細は中面をご確認ください!

- ★国内で自転車を利用される方及びその保護者の方など、**どなたでも入会・加入**できます。
※被保険者(保険の対象になる方)の年齢制限はありません。(加入手続きは16歳以上の方にお願いします)
- ★「サイクル安心保険」への加入には、全日本交通安全協会・自転車会員への入会が必要です。
- ★自転車会員入会申込書とサイクル安心保険加入依頼書は、双方を兼ねていますので、1回の手続きで入会・加入ができます。
- ★自転車会員入会は**無料**、年会費は**30円**で年間掛金に含まれております。
- ★加入後は**自動継続**なので、更新手続きは不要です。(クレジットカードの有効期間切れの場合、再登録が必要です。)



【野郎猫チーター】はサイクル安心保険のイメージキャラクターです。 ©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

賠償事故の場合 **ご家族全員を補償!** (全プラン共通)
傷害事故の場合 **入院時の補償からもしものときまで** (プランB・C・E・Fのみ)
安心の **示談交渉サービス!**

自転車会員に入会(入会金無料、年会費30円が掛金に含まれます。)して「サイクル安心保険」に加入しましょう。
パンフレットまたは協会ホームページから「どなたでも入会できます!!」

WEBからの加入がお得・便利!!
● 便利な**クレジットカード払い**ができます!
● **掛金がお得**です!
● 申込み手続き後、**すぐ加入者票がダウンロード**できます! [重要]郵送による加入者票のお届けはできません。

モバイルから加入の場合はこちら
右記の2次元コードからアクセスしてください。
24時間、土日祝日いつでも加入できます!

詳しくは **一般財団法人全日本交通安全協会** をクリック!
(URL) <https://www.jtsa.or.jp/>

サイクル安心保険コールセンター **03-4590-1519**
「サイクル安心保険加入」についてはお電話でお問い合わせください。 [受付時間] 平日:午前9時~午後5時

問い合わせ先(保険会社等の相談・苦情・連絡窓口) [受付時間] (営業店・代理店とも) 平日:午前9時~午後5時
サイクル安心保険コールセンター 取扱代理店(幹事) 株式会社インシュアランスサービス 自転車保険担当窓口
〒160-0016 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル14階 **TEL 03-4590-1519**
引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第二課 団体連絡先
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル14階 一般財団法人 全日本交通安全協会 自転車会員係
TEL 03-3349-3378 [受付時間] 平日:午前9時~午後5時

自転車保険 事故受付専用ダイヤル [受付時間] 24時間365日 **0120-023-192** ※事故のご連絡の際は、必ず「サイクル安心保険」のご利用をお伝えください。
事故が起こった場合は、ただちに警察に届けるとともに、加入者票をお手元にご準備のうえ、上記事故受付専用ダイヤルまたは損害保険ジャパン、取扱代理店までご連絡ください。

一般社団法人日本損害保険協会 せんぽADRセンター [受付時間] 平日:午前9時15分~午後5時(土・日・祝日・年末年始は休業)
0570-022808 <連絡料有料> 詳しくは、一般社団法人日本損害保険協会のホームページをご覧ください。(https://www.sompo.or.jp/)

交通事故を減らすため交通安全協会は幅広い活動をしています。

～ あなたの交通安全協会会費が交通安全ボランティアの活動を支えています ～
各支部の交通安全活動だより(秋の全国交通安全運動などでの啓発活動、安全教室の開催等)



交通安全功労者等表彰式
橋本支部



交通安全功労者等表彰式
かつらぎ支部



運転者に「早めのライト点灯」を呼びかけ
岩出支部



買い物客に交通安全啓発
和歌山東支部



イベント会場で交通安全啓発
和歌山西支部



広報車で交通安全啓発
和歌山北支部



買い物客に交通安全啓発
海南支部



二輪車乗車マナーアップ運動
有田湯浅支部



交通安全ポスター展
御坊支部



小学校での交通安全教室
田辺支部



駅前で交通安全啓発
白浜支部



買い物客に交通安全啓発
新宮支部

交通安全協会では、下記のマークを販売しております

交通安全協会各支部又は交通センター内交通安全協会窓口にてお求めください。
また、お問合せは、交通安全協会総務課又は事業課まで。

交通安全協会 総務課 073-473-1710 事業課 073-472-4668



高齢運転者マーク 500円
・マグネットタイプ (税込)
・ステッカータイプ
(マグネットで付かない車両用)



聴覚障害者
マーク
500円
(税込)



身体障害者
マーク
500円
(税込)



和歌山県交通安全協会
シンボルマスコット
ちゅういくん

ホームページ
<http://www.wtsa.jp/>